

148 藤森春樹・金山咲月

「Q」はボディウエイトの投げ出し方が良く、スピードとバランスが程よく調和している

「W」は前半は良いが、途中から脚から脚への移動になってしまうステップが見受けられるので、中間バランスからの移動を確実にできるよう心掛けて欲しい

160 梅沢里玖・齋藤杏美

「Q」、「W」とも同様、男子が右に(女子に)寄りすぎていて、女子を抱えて踊ってしまっている。男子は自分の左サイドの重さを意識できるようになれば、改善されるのではないかと

171 フォードカーク龍馬・臼杵綾夏

「Q」は、体の使い方が平面過ぎて進みづらいのではないかと

「SF」は、フェーズステップはもっとサイドリードを使い、アウトサイドポジションも胸を使って相手を包み込むようにするなど、体を立体的に使うことを心掛けて欲しい

234 田沢拓都・中谷有沙

ボディコンタクトとは、体をくっつけたまま踊ることでは無く、それぞれの確かなポイズを前提に、動きの中でコンタクトができるようになると、もっと踊りがフリーにダイナミックになるはず

「W」はフットワークに間違いが見られるので改善を

244 矢島豪大・矢島瑞希

「Q」、「T」ともに、男子の右肘が後ろに引けているように見え、女子のバランスに影響がありそう。女子を運ぶようなリードであれば、組み方を改善する必要あり

307 佐藤哲太・佐藤里沙子

「Q」、「W」とも、体の使い方が平面過ぎるので CBM やサイドリードを勉強する必要あり。また、自分のボディウエイトが進行方向に使えるとスムーズに移動できるように思う

クイックステップ

148 藤森春樹・金山咲月

エネルギーが良く音楽性も良く、ストロングなダンスです。

160 梅沢里玖・齋藤杏美

リズムカルで足が良く使えています。その結果ホディへの変化も素早いので好感の持てるクイックです。女子のヒップが落ちないようにするといいたいでしょう。

171 フォードカーク龍馬・臼杵綾夏

もう少しアクティブさがあるとさらに評価は高まるでしょう。

234 田沢拓都・中谷有沙

もっと足の裏や脚を使えるのにもったいない感じがあります。体のトーン、芯の強さは足からだと思えます。

244 矢島豪大・矢島瑞希

音が惜しいです。バイタリティもあるのに強化してほしいです。

307 佐藤哲太・佐藤里沙子

きれいですが、硬いです。特に首の線を見ると柔軟性に欠けるため、身体のバランスコントロールもしにくくなるでしょう。

自由選択種目

148 藤森春樹・金山咲月

スウィングも大きく大変のびやかです。

160 梅沢里玖・齋藤杏美

ワルツはもう少し柔軟性とスウィングの伸びが出るといいでしょう。

171 フォードカーク龍馬・臼杵綾夏

脚がしなやかに使えるので理解を深めたらどんどん変わって行けると思います。

234 田沢拓都・中谷有沙

ヒールからトウに抜けるところまで気を抜かず使い続けてください。

244 矢島豪大・矢島瑞希

ここでどうしたいかはわかりませんが、何をすべきかが曖昧で強さに欠けてしまいます。

307 佐藤哲太・佐藤里沙子

縦の線は素晴らしいです。音を切らないように繋げる意識を持つとしなやかさが出るのでないでしょうか。

148 藤森春樹・金山咲月

クイックもワルツも二人の一体感 大きなスウェイ スウィング 音の表現ピカイチでした。

160 梅沢里玖・齋藤杏美

クイックは映像からもスピード感が感じられ、身体の投げ出し方が上手でした。ただ足音が気になりました。足首の使い方が良くないためかもしれません。そのせいか、ワルツはクイックより動きにくそうに見えました。ゆっくりな曲だと身体を投げだし、かつ足首でコントロールをしなければどんどん曲より速くなってしまうため、足首が使えないとクイックのように身体を投げ出せないのかもしれない。

171 フォードカーク龍馬・臼杵綾夏

ナチュラルな動きで好感が持てました。ただ、クイックもですが特にスローはもっと身体の中から動きがはみ出るような使い方が必要で、そうすることにより、もっと音楽の表現や二人の一体感が出てくると思います。そのような二人のダンスが見れる日、を楽しみに期待しています。

234 田沢拓都・中谷有沙

二人のセットアップが良く、全体的にどのステップもクイックもワルツも安定して見えました。その中で、左回りの時に少しスピードが減速して見え、動きにくそうに見える瞬間がありました。映像だけで判断するのは難しいのですが、男子が少し手で回してしまっているのか、女子の左サイドが落ちてちょっと引っ張っているのかどちらかの可能性があるかもしれません。研究してみてください。

244 矢島豪大・矢島瑞希

二人の一体感があり、お互いを感じて一緒に動こうという気持ちが見え好感が持てました。クイックはハーフシャッセの後ろの足が床から離れすぎてしまい、しっかり押せていないように見えました。だからなのか、他のステップより進めていないように見えたのでハーフシャッセのスタンディングレッグの足の使い方を研究してみてください。タンゴは、後退する人がもう少し背骨で相手を「プル」する力を使って踊ってみても良いのではと思いました。参考にしてみてください。

307 佐藤哲太・佐藤里沙子

大きなスイングと、それに合った大きなスウェイをかけてダイナミックに踊れるのが二人の良いところで素晴らしいところだと思います。ですので、クイックはスイングするステップは良かったのですが、それに対し跳ぶステップにもう少し練習が必要なように見えました。ちょっと上に跳びすぎて見えましたし、二人のばらつきも見えました

後記:「講評」には、担当下さいました審査員の方々に担当割をさせて頂きました。

よって、選手一組ずつの講評を寄せて頂いた競技会や全体像としての講評を寄せて頂いた競技会等々、それぞれの文面に個性が表れており楽しくご覧になって頂けましたらと思います。

※ 記載されている講評番号は採点集計表の審査員番号とは異なります。